

『市民と行政との協働によるまちづくりに関するアンケート』(案)

* 目的

市民のまちづくりに関する意識や地域活動への参加状況を把握するためのアンケート調査を実施し、今後の「協働によるまちづくり」の推進に向けた基礎資料として活用する。

* 調査対象

19歳以上の市民 2,000 人（男 1,000 人、女 1,000 人） 無作為抽出

内訳	19、20 歳代男女	各 180 人
	30 歳代男女	各 170 人
	40 歳代男女	各 170 人
	50 歳代男女	各 160 人
	60 歳代男女	各 160 人
	70 歳代男女	各 160 人

* 調査方法 : 郵送調査

* 調査時期 : 平成 27 年 1 月下旬調査票発送予定

* 内容 : 別紙調査票 参照

市民と行政との協働によるまちづくりを目指して

あなたのご意見をお聞かせください

平素は、小城市のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。小城市では、「小城市総合計画」後期基本計画（平成 24 年度～平成 28 年度）において、重点施策の 1 つとして『市民と行政との協働体制の確立』を掲げ、「協働によるまちづくり」を進めているところです。

今回、市民の皆様にはまちづくりに関する意識や地域活動への参加状況を把握するためのアンケート調査を実施し、今後の「協働によるまちづくり」の推進に向けた基礎資料として活用させて頂くことにしました。

調査の実施にあたっては、19 歳以上の市内居住者を対象として無作為に 2,000 人の方を抽出したところ、あなた様にアンケートをお願いすることになりました。

このアンケートから得られた情報は、統計的に処理し、個人が特定されることはありません。また、本調査の目的以外に使用することはありません。

つきましては、ご多用な中に申し訳ありませんが本調査の趣旨をご理解いただきご協力下さるよう、よろしくお願いいたします。

平成 27 年 1 月

小城市長 江里口 秀次

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、封筒のあて名のご本人の方が、お答えください。ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意思を反映してご家族の方がご記入ください。
2. 黒の鉛筆又はボールペンでご記入ください。
3. 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。回答数は、各設問文に（○印 1 つ）などと指定してありますので、それに従ってご回答ください。
4. 設問によっては、該当する番号に○印をつけた方だけに答えていただくものなどがありますので、その説明に従いご記入ください。
5. ご不明な点、調査に関するお問い合わせなどは、下記までお願いいたします。

調査のお問い合わせ先

小城市役所 総務部 企画課 市民協働推進係 池田・浦部
（電話：0952-37-6115 FAX：0952-37-6163）

記入していただいた調査票は三つ折りにし、月 日（ ）までに、同封の返信用封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。

このアンケートでは、市民活動、NPO、コミュニティ活動、協働、行政区について以下のように位置づけています。

市民活動・・・営利を目的としない市民の自主的・主体的に行う公益活動。具体的にはボランティア団体やNPOの行う活動。

NPO・・・非営利組織のこと。行政や企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体

コミュニティ活動・・・市民活動のうち、地域の自治会活動やサークル活動、地域の美化、防犯などのボランティア活動などを個人あるいは団体で実施、参加する活動。

協働・・・立場や手法が違う組織同士が「共通の目的（解決したい課題）」のためにそれぞれが持つ特質（情報や手法や人的資源等）を持ち寄り、「対等の立場」で「協力して働く」こと。

行政区・・・一の市町村を任意の区画で分割して設置される実務上の行政区画において設けられる住民自治組織を指す。

例：北小路、大寺、天満町、牛王等

◆ご自身のことをおたずねします

問1. あなたの性別を教えてください。

1 男性	2 女性
------	------

問2. あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳代	7 70歳代	8 80歳代以上

問3. 小城市に住んで何年になりますか。(○は1つ)

1 1年以下	2 1年～3年	3 4年～9年
4 10年～19年	5 20年～29年	6 30年以上

問4. あなたの居住している地域はどこですか。お住まいの小学校区を教えてください。

(○は1つ)

1 小城町桜岡校区	2 小城町岩松校区	3 小城町晴田校区
4 小城町三里校区	5 三日月校区	6 牛津町牛津校区
7 牛津町砥川校区	8 芦刈校区	

◆コミュニティ活動についておたずねします

問5. あなたは、地域のことに関心がありますか。※ここでいう地域とは、「行政区」です。

(○は1つ)

1 非常に関心がある	2 ある程度関心がある
3 あまり関心がない	4 全く関心がない

問6. あなたは過去一年間で、地域活動や市民活動などの活動に参加したことがありますか。

(○は1つ)

1 ある → 問7～問9へ	2 ない → 問10へ
---------------	-------------

【問6で 「ある」と答えた方におたずねします】

問7. あなたは過去一年間で、どのような活動団体の活動に参加しましたか。

(あてはまるものすべてに○)

1 職場で	2 学校で	3 PTAで
4 自治会で	5 子ども会で	6 老人会で
7 消防団で	8 NPOやボランティア団体で	
9 個人で	10 その他 ()	

【問6で 「ある」と答えた方におたずねします】

問8. 活動に参加して良かった点はどのようなことですか。(○は1つ)

- 1 近所付き合いが広がる
- 2 災害時などいざというときに安心である
- 3 地域の情報を得ることができる
- 4 地域に貢献できてうれしかった
- 5 自分が必要とされていることがわかった
- 6 やりがいや生きがいを感じた
- 7 その他 ()
- 8 特にない

【問6で 「ある」と答えた方におたずねします】

問9. 活動に参加して一番負担に感じた点はどのようなことですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 時間がとられること | 2 身体的な負担が大きいこと |
| 3 出費が多いこと | 4 家族の理解が得られないこと |
| 5 人間関係がわずらわしいこと | 6 役員になりそうなこと |
| 7 その他 () | 8 特にない |

【問6で 「ない」と答えた方におたずねします】

問10. 活動に参加されていない理由はどのようなものですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 気をつかうのがわずらわしい | 2 話が合わない |
| 3 活動ペースが合わない | 4 時間を取られる |
| 5 活動するための知識や技術がない | 6 金銭的な負担を避けたい |
| 7 活動に参加する必要性を感じない | 8 どのような活動があるかわからない |
| 9 役員になりそうでいやだ | 10 その他 () |

問11. あなたが住んでいる行政区では、地域活動や市民活動は活発であると思いますか。

(○は1つ)

- 1 非常に活発に行われていると思う
- 2 ある程度活発に行われていると思う
- 3 あまり活発に行われてないと思う
- 4 ほとんど行われていないと思う
- 5 わからない

問 1 2. 活動をより活発にするには、主に何が必要ですか。(〇は3つ以内)

- | | |
|----|----------------------------|
| 1 | 若者や勤務者等の幅広い人たちへの呼びかけ |
| 2 | リーダー養成や組織づくりの勉強会・専門家のアドバイス |
| 3 | みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催 |
| 4 | 地域の課題を話し合える場 |
| 5 | 住民一人ひとりが地域への関心を高める |
| 6 | 近所の人とのつながりをつくる |
| 7 | 活動内容の情報発信を活発にする |
| 8 | 役割分担の公平化 |
| 9 | 行政からの財政的支援 |
| 10 | その他 () |

◆協働の進め方についておたずねします

問 1 3. より良いまちづくりを進めていくためには、行政がやるべき事として、次のようなことが考えられますが、特に重要な事はなんだと思いますか。

(〇は3つ以内)

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 市民のニーズや地域課題の把握 |
| 2 | まちづくり活動に参加するきっかけづくり |
| 3 | 市民の力を活かすコーディネート機能の充実 |
| 4 | 市民の参加を促す啓発の取り組み・情報発信 |
| 5 | まちづくり活動の担い手育成 |
| 6 | 補助金の交付などの財政支援 |
| 7 | 市職員の積極的な関与 |
| 8 | その他 () |

問 1 4. より良いまちづくりをつくっているためには、市民ができる事はどのような事だと思いますか。(○は3つ以内)

1	市政や地域活動情報の積極的な収集
2	地域の課題を話し合う場づくり
3	活動したいことを提案し発信していくこと
4	地域活動の内容の積極的なPR
5	活動をひっぱりリーダーの育成
6	その他 ()

◆自由意見

問 1 5. 小城市の今後の協働によるまちづくりのあり方などについてご意見・ご提案がありましたら、ご自由にご記入ください。

お忙しいところ、アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。